

『New Habitations from North to East 11 years after 3.11』

写真：トヤマタクロウ 詩：瀬尾夏美

2023年9月下旬配本予定

上製 312頁 寸法：188×263mm

価格：5,500円+税 発売：2023年9月下旬

ISBN 978-4-908254-10-9 C0070 ¥5500E

東日本大震災から11年目に撮られた写真（トヤマタクロウ）と、
11年の間に語られた土地の言葉（瀬尾夏美）。
被災地の現在と過去が織り成す、「あたらしい風景」。

どこまでも広くて、青々とうつくしい
破壊のあと、その分厚い手で立ち上げてきたのは
誰にも思いも寄らなかった風景



2011年に起きた東日本大震災から11年。東北沿岸部の被災地はこの間に、巨大な防潮堤をはじめ、嵩上げや高台の造成を行い、「あたらしいまち」をつくり上げてきました。同時に被災し、一斉に行われた大規模復興工事は、一見すると似たようなまちなみを各地に生み出しています。しかし、ひとつ一つに目を向ければ、土地土地で営まれてきた人の暮らしの痕跡があり、それらは微かな違いとして風景に現れています。

アーティストで詩人の瀬尾夏美は、東日本大震災以降、岩手県陸前高田市をはじめ、近年増え続ける自然災害の被災地を訪ね、土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら絵を描き文章を書いています。2022年、彼女はこれまで飛び石的に訪れていた被災各地を歩き直した軌跡を一冊の本にまとめることにしました。そして、写真家のトヤマタクロウが、2022年秋から2023年春にかけて岩手県北部から茨城県中部までを点と点を結ぶように辿り、各地の今の風景を収めました。

数回に分けて行われた撮影の道程は、700キロメートルに及びます。ある時は共に、ある時は個々に、二人のアーティストは被災した地を訪れ、そこで見聞したものを写真と言葉にしました。対象から一定の距離をとる旅人の視点で撮られたトヤマの写真に、震災後11年をかけて瀬尾が聞いてきた土地の声が編みこまれた本書には、現在と過去、遠さと近さが複雑に交差していく、幾重もの層が表れています。各地の微かな違いのなかから立ち現れる「あたらしい風景」を、ぜひご覧ください。

→ ご注文はツバメ出版流通まで

FAX 03-3721-1922

TEL 03-6715-6121

<http://tsubamebook.com>
mail:info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)

発売：YYY PRESS (合同会社米山 発行) 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご担当： 様

冊

新刊 『New Habitations from North to East
11 years after 3.11』

ISBN 978-4-908254-10-9 C0070 本体 5,500円